

# 感染再拡大中！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年7月28日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和3年第29週分・7月19日～7月25日)

### 《インフォメーション》

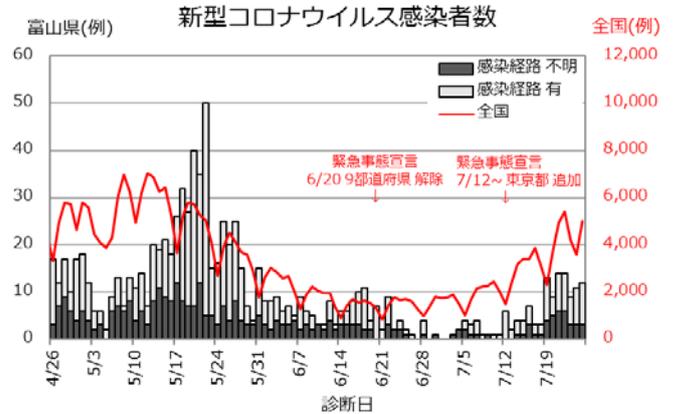
#### ●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、7月25日時点で870,445例となり、15,129例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は首都圏を中心に増加傾向が明確になり、第5波に入ったと考えられます。現在、東京都と沖縄県で緊急事態宣言が発令、4府県でまん延防止等重点措置が実施されています。

県内の今週の新規感染者数は82例報告され(図;棒グラフ)、7月25日時点の累積感染者数は2,171例になりました。7月に入り、新規感染者数は増加傾向にあり、その内、県外での感染が疑われ、職場や家庭内での感染事例が複数認められています。更なる感染拡大を防ぐため、県民の皆さまには、緊急事態宣言対象地域や感染拡大地域への不要不急の県境をまたぐ移動について、慎重な判断が求められます。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでいますが、接種後もこれまで通りの感染対策が必要です。

衛生研究所では、6月上旬からデルタ株を検出するためのL452R変異検査を実施しており、7月27日時点のL452R変異検査陽性例は累積13例になりました。その内、ゲノム解析を実施できた4例全てがデルタ株であったことを確認しています。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。デルタ株による感染拡大を防ぐため、引き続き高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。



### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 82件
- 二類感染症 結核 1件(90歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件(①40歳代、男性、肺炎型 ②70歳代、女性、肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(80歳代、女性、G群)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位4疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	3.21(↓)	5.83
2位	感染性胃腸炎	1.76(↓)	2.86
3位	咽頭結膜熱	0.45(↓)	0.72
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21(↓)	0.38

※5位 水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎;0.14人/定点(紙面の都合、省略)

RSウイルス感染症が全国的に増えています！  
3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2～3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第29週 令和3年7月19日～令和3年7月25日）

分類	疾患	今週報告分（第29週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	10	4	25	28	12	3	82	126	138	401	103	788	35	1,591
二類感染症	結核					1		1	8	6	22	10	30		76
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										4	1	2		7
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症			1		1		2	1	3	8		5		17
五類感染症	アメーバ赤痢								1						1
	ウイルス性肝炎								2						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	2	2		5
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1			1			2	1	2		5
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	4		14		20
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	3	5	49	29	7		93	120	119	1,475	208	784		2,706
	咽頭結膜熱	1	2	1		9		13	30	34	131	6	131		332
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	1		3		6	60	37	426	79	202		804
	感染性胃腸炎	6	5	17	1	22		51	521	268	437	173	1,069		2,468
	水痘			2	1	1		4	1	6	24	6	28		65
	手足口病	1				3		4	6		10	1	11		28
	伝染性紅斑					4		4		1	7	1	16		25
	突発性発しん		1	3				4	38	22	99	44	91		294
	ヘルパンギーナ	1				3		4	19	1	3		7		30
	流行性耳下腺炎			1		3		4	2	2	6	5	10		25
	流行性角結膜炎			0.13		0.30		0.14			1				1
	細菌性髄膜炎												2		2
	無菌性髄膜炎												2		2
	マイコプラズマ肺炎									1	7	1			9
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1
	インフルエンザによる入院患者（※2）										1	8			9

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です